

●カリキュラムポリシー●

中通高等看護学院は、少子化及び高齢化が進む秋田県において、地域と明和会の保健医療の担い手として活躍できる、看護実践者を育成するために次のようなカリキュラムを編成し、実施する。

1. 秋田における今後の医療動向を見据え、少子高齢化、多様化、地域医療のニーズへの対応が求められる。そのために、4つの力「自ら学び続ける力」「考える力」「行動する力」「センシング力（現実から情報を獲得する力）」を発展させながら看護実践能力を育成するカリキュラムとし、「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」で構成する。
2. 基礎分野・専門基礎分野は、対象のその人らしさや暮らしを理解するために、「人間理解」「人間の暮らし」「人間の健康」の3領域で科目を構成する。
3. 専門分野は、看護について深く学ぶ。看護は、「対象がその人らしく暮らせるように医療の側面から支えることであり、支えるとは、対象の想いや願いを尊重し、意思決定に関わったり、対象にとって最適な援助を見出し、実践できること」である。人間・暮らし・健康を基盤として学びを深め、4つの力を発展させる。
4. 地域包括ケアシステムで活躍できる人材育成に向けて、1年早期から積み上げ式に、地域と暮らしの理解、暮らしを支える看護など地域における看護を学ぶ科目を配当する。1年次から、地域へ出向き、フィールドワークを通じて人々の暮らしの理解を深める。
5. 臨地実習では、4つの力と地域で暮らす生活者としての対象を軸とし、各看護学の科目を設定する。
6. 実践の場に即した臨床判断能力の育成のためにシミュレーション教育やアクティブラーニングを活用する。電子テキストを導入し、ICTの活用を行う。また、意志ある学びができるようにプロジェクト学習も取り入れる。看護専門職として自己のあり方を省察する能力を身につけるために「看護リフレクション」の科目を設定する。
7. 学習目標の達成度を総合的に評価するために、科目に応じた多様な評価方法を取り入れる。